

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 31日

事業所名:みらいりんく糸満大里

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・適切な広さを確保できています。	
	2	職員の配置数は適切である	6		・適切な配置を行っています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		・ジョイントマットを敷いています。 ・歩行が安定しない子どもはスタッフが必ず一緒に行動しています。	・平屋の為室内はバリアフリーですが、玄関先が段差があるので、子ども達の安全面に配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・日々、清掃、消毒を行っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		・就業前、就業後に支援内容の確認や申し送り事項の確認をしています。	・就業前や就業後以外に、必要に応じ、情報共有を図っていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		・事業所の評価を行い、改善できるところから改善を図っています。	・保護者からの意見を踏まえ、改善した点等を、みらいりんく通信等で公表するようにします。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		・2021年12月にホームページを開設したので、ホームページ上で公表します。	・ホームページ開設のお知らせを周知徹底したいと思います。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		今後、第三者委員会の設置を検討したいと思います。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・内部研修の開催、外部研修への参加を促している。	・職員の経験年数や事業に対する思いを考慮し、適切な内容の研修を吟味し、全員が研修を受けられるようにしていきたいと思います。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		・支援計画を作成する際には職員で話し合い、分析するようにしている。	・支援計画の更新時は、アセスメントを適切に行ったうえで、職員が意見を出し合い、子供と保護者の課題やニーズを客観的に分析するようにしています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		・スキルリスト(学習・身辺自立・ソーシャルスキル・ITリテラシー・余暇・性・進歩キャリア)を利用しています。	・今後もスキルリストに沿って、利用者個人のチェック表及びリーダーチャートを活用していきたいと思います。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		・ガイドラインの読み合わせをしています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			・個々の課題を、職員が日ごろから見えるようにし、日々の支援の中に活かすようにしています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14 活動プログラムの立案をチームで行っている		6	・職員ミーティングで、活動プログラムの計画や改善を行っています。	・毎月月末に、活動プログラムの継続性や見直しについて検討する会議を開催したいと思います。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している		6	・月刊誌「実践 みんなの特別支援教育」等を参考にしながら固定化しないよう工夫しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している		6	・個々の適正に応じた支援や活動を行っています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		6	・朝礼で支援内容の確認や情報共有を図っています。	・職員のリーダー制をとり、リーダーを中心にその日の活動を行っています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		6	・支援終了後、振り返りをし情報共有を図っています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		6	・利用者の様子を支援記録に記し、共有を図っています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している		6	・モニタリング会議に参加し、情報を共有しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		6		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		6	・必要に応じ、相談支援員や行政機関等へ情報を共有を図り、連携した支援ができるようにしています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当者なし	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当者なし	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		6	・担当者会議にて情報共有を図っています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		6	・担当者会議に参加し、情報共有や連携を図っています。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		5		・他事業所の経験豊富な方から助言を頂くこともありますが、専門機関への相談や研修会参加を図っていききたいと思います。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		4	1	・コロナ感染状況を考慮しながら、利用者も負担にならないよう心掛けつつ、交流の機会をもてるようにしていきたいと思っています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
携	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	1		協力依頼があれば、積極的に参加したいと思います。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・連絡帳や送迎時に日々の活動の様子を伝え、情報共有を心掛けています。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5		・保護者の悩みや相談は個別に対応し、対応方法を共に考えると共にアドバイスができるようにしています。	・ペアレントトレーニングの研修を受けた職員を中心に、ペアレントトレーニングの開催を目指します。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		・契約時に説明をしています。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		・支援計画書にサインを頂く際に丁寧な説明を心掛けています。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・保護者からの悩みや相談は、速やかに対応し、必要な助言を支援を行っています。	・保護者が相談しやすい雰囲気づくりに努めています。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2		・支援の要請があった場合、協力していきたいと思います。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		・適宜、活動内容をブログに掲載しています。	・ホームページやブログの案内をし保護者に周知徹底を図っていききたいと思います。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	6		・書類の管理や守秘義務を徹底し、採用時に、誓約書を記入してもらっています。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5			・コロナ感染状況を考慮しながら、夏祭りや周年祭を開催する際に、地域住民の方々を招待することを検討していきたいと思います。
	非	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		6			・年2回の避難訓練を継続します。
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		6		・保護者へ聞き取りし、情報の共有を図っています。	・個人用カードを完成させ、非常時にも活用できるようにしていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
常時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			・現在、医師の指示が必要な利用者はいなが、対象児がいる際は、指示書に基づき対応します。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		・ヒヤリハットファルを準備しています。	・職員がヒヤリハットファイルを意識できるよう徹底し、事例が発生した時には速やかに記入できるようにしていきたいと思います。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		・研修会の参加を促しています。	・今後も継続して研修に参加を進めていきたいと思います。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		・身体拘束に関しては、契約書や重要事項説明書に記載し契約時に、丁寧に説明しています。	・身体拘束に際して対応方法を、職員への周知徹底を図ります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。